

公立病院改革プランの主な内容

都道府県名		岐阜県													
団体名		岐阜県			岐阜市		大垣市		多治見市		中津川市		美濃市	羽島市	
病院名		岐阜県総合医療センター	岐阜県立多治見病院	岐阜県立下呂温泉病院	岐阜市民病院		大垣市民病院		多治見市民病院		総合病院中津川市市民病院	国保坂下病院	美濃市立美濃病院	羽島市民病院	
公立病院改革プラン策定日 (※策定予定の場合は、「H21年〇月予定」と記載)		平成19年12月1日			平成21年3月30日		平成21年3月19日		平成21年3月31日		平成21年3月31日		平成21年3月31日	平成21年3月23日	
経営収支黒字化目標年度		平成26年度			達成済		達成済		平成22年度から指定管理者制度移行による利用料金制をとるため、病院事業会計での経営収支黒字化目標はない		平成25年度		平成23年度	平成24年度	
経営効率化に係る計画	平成20年度財務に係る経営指標数値(実績)	経常収支比率(%)	91.6	99.1	83.0	101.3	102.4	89.7	89.1	93.2	89.9	89.1	89.2	96.9	95.4
		職員給与と費比率(%)	45.4	47.2	75.8	48.0	40.4	73.4	55.6	55.9	46.8	57.4	46.8	57.4	
		病床利用率(%)	85.5	70.3	54.7	89.9	86.1	57.8	72.9	74.0	89.5	72.5			
	財務に係る数値目標(平成23年度)	経常収支比率(%)	93.0	98.5	88.7	100.1	101.4	68.6	96.5	96.2	100.7	99.2			
		職員給与と費比率(%)	44.5	47.6	66.2	50.7	42.7	6.3	52.8	54.3	50.4	55.0			
	病床利用率(%)	90.0	90.3	56.4	92.2	90.0	77.6	79.0	70.4	89.3	73.9				
再編・ネットワーク化に係る計画	再編・ネットワーク化の結論の取りまとめ(予定)時期	平成21年度			平成21年9月		平成26年3月		平成21年5月		平成23年度		平成26年度	平成24年度	
	再編・ネットワーク化の枠組みまで合意している場合は○を記入(既に再編・ネットワーク化を実施している場合は◎を記入)(以下①から⑤まで記入)	◎	◎	◎	◎			◎							
	①再編・ネットワーク化の具体的な内容	岐阜県保健医療計画に定める4疾病5事業ごとの連携体制、公立病院の再編・ネットワーク化に関する方針(岐阜県)における岐阜県総合医療センターの役割を果たす方向で、周辺医療機関も含意した。具体的には、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「産科医療」、「がん医療」、「女性とこども医療」を重点医療と位置づけ、充実強化する。	多治見市民病院と県立多治見病院の役割分担を明確にした。具体的には、市民病院は二次救急医療の提供や「回復期リハビリテーション病棟」の設置などを行う。県立病院の役割は、「三次救急医療」の提供や「急性期医療」、「産科医療」、「がん診療拠点」など高度で先進的な医療を提供するとともに、「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を提供する。	下呂市立金山病院と県立下呂温泉病院との役割分担を明確にした。具体的には、市立金山病院は、市南西部で不足する内科、外科分野の医療を補うとともに、「救急医療」、人間ドック、各種検査等を行う。下呂温泉病院の役割は、「急性期医療」、「救急医療」、「災害医療」、「へき地医療」等の支援拠点、「回復期リハビリテーション医療」、「産科」など地域に不足している医療を主として提供する。	岐阜県保健医療計画に定める4疾病5事業ごとの連携体制、公立病院の再編・ネットワーク化に関する方針(岐阜県)における岐阜市民病院の役割を果たし、がん医療や周産期医療等の分野において中核的機能を分担する。再編については、岐阜医療圏における中核病院として基本的に現行体制を維持する。ネットワーク化については、地域医療機関との連携を推進する。			「再編・統合」について、岐阜県は県立多治見病院の地方独立行政法人化を進めており、市として平成21年3月に県立多治見病院とは、統合しないと結論を出した。「病院機能の役割分担・ネットワークについての検討」については、医師会、県立多治見病院と協議し、救急医療の機能分担(二次救急医療の提供)、回復期リハビリテーション病棟の設置などを市民病院の機能とした。協議内容を反映させた新病院基本計画を平成21年6月に策定した。							
	②再編・ネットワーク化に係る関係地方公共団体がある場合はその名称	岐阜市	多治見市	下呂市	岐阜県			岐阜県(県立多治見病院)							
	③平成22年3月末までの上記再編・ネットワーク化の進捗状況(上記計画のうち平成22年3月末までの実施部分)	役割分担を踏まえた施設整備や診療体制整備を進めた。	役割分担を踏まえた施設整備や診療体制整備を進めた。	平成25年度開院を目指して、役割分担を踏まえた病院移転の基本計画を策定した。	地域医療支援病院として地域医療機関との連携を強化し、紹介・差紹介の推進、高度・専門的医療の提供や、クリニカルパスの電子化に向けて検討を行った。また、地域がん診療連携拠点病院として、県内でのがん診療に関する情報を公開し、地域医療機関や大学病院などと連携を深め、質の高い専門的ながん診療の提供に努めた。			役割分担・ネットワーク化の協議内容を反映させた新病院建設事業を進めている。(現在は、基本設計を策定中)							
再編・ネットワーク化を検討中の場合	検討中の場合は○を記入(以下④及び⑤を記入)						○				○	○	○		
④再編・ネットワーク化の検討体制(協議機関の名称等)							大垣市民病院改革プラン検討委員会				病院事業部及び健康福祉部を中心に財政担当理事と検討	美濃病院運営検討会議	羽島市民病院改革プラン評価委員会		
⑤再編・ネットワーク化検討の方向性							・西濃医療圏の基幹病院として、岐阜県地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院、地域災害医療センター、地域がん診療拠点病院、救命救急センター等、三次医療機関の役割を担う。 ・地域医療支援病院の承認を目標とし、地域において、患者の診療が継続的に行われ、一貫した治療が受けられるよう、地域連バス等を充実させ、医療圏域内の連携を強化・拡大する。				広域的な病院ネットワークの可能性を検討。市民病院と坂下病院との管理部門の一体化、公立診療所等の連携強化、民間病院、診療所、介護施設等も含めた連携の可能性を検討。	当面は現在の規模を維持しながら、周辺医療機関及び岐阜大学病院との連携を深め、協力的・効率的な医療ネットワーク化を目指す。	岐阜医療圏の南部における中核病院として、岐阜大学医学部附属病院や地域の医療機関との連携を促進し、今後とも専門性の高い急性期医療を地域に提供する。		
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況(平成22年3月末現在(一部適用、全部適用、地方独法、指定管理者等の区分を記入))	一部適用			一部適用		一部適用		全部適用		一部適用		一部適用	一部適用	
	経営形態の見直し(予定)時期	「岐阜県立病院の地方独立行政法人化に関する懇談会」の議論を踏まえて、庁内で検討			平成23年度		平成21年3月に現状を維持することとしたが、改革プランの点検・評価時(平成25年度までに1年1回)において、必要があれば見直しする。		平成22年度		平成23年度		平成26年度	平成22年10月以降	
	経営形態の見直し(※実施の場合)●、決定済みの場合は◎、検討中の場合は○、検討対象範囲にすべて○を記入)	公営企業法全部適用				○		●		○	○	○	○	○	
	地方独立行政法人	◎	◎	◎	○		○		○	○	○	○	○		
指定管理者制度								◎							
民間譲渡									○	○	○	○			
診療所化															
老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行															

公立病院改革プランの主な内容

都道府県名		岐阜県								
団体名		恵那市	土岐市	飛騨市	郡上市		下呂市	関ヶ原町		
病 院 名		市立恵那病院 国保上矢作病院	土岐市立総合病院	国民健康保険飛騨市民病院	郡上市民病院	郡上国保白鳥病院	下呂市立金山病院	国民健康保険関ヶ原病院		
公立病院改革プラン策定日 (※策定予定の場合は、「H21年〇月予定」と記載)		平成21年2月25日	平成21年3月31日	平成21年3月19日	平成21年3月31日		平成21年3月30日	平成21年3月31日		
経営収支黒字化目標年度		達成済	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成21年度	平成24年度	平成25年度		
経営効率化に係る計画	平成20年度財務に係る経営指標数値(実績)	経営収支比率(%)	100.1	101.2	93.8	93.9	91.5	92.4	93.2	89.6
	職員給与費比率(%)	-	62.0	58.5	64.8	58.8	63.8	69.6	51.4	
	病床利用率(%)	78.5	94.4	86.0	75.8	85.7	69.1	59.9	74.0	
	財務に係る数値目標(平成23年度)	経営収支比率(%)	101.3	101.2	101.2	100.2	101.6	101.3	98.1	97.7
	職員給与費比率(%)	-	65.0	54.5	61.6	62.3	62.7	63.9	47.4	
	病床利用率(%)	80.1	96.2	75.2	88.0	89.3	78.3	65.5	92.4	
再編・ネットワーク化に係る計画	再編・ネットワーク化の結論の取りまとめ(予定)時期	平成25年度	平成25年度	平成23年度	平成22年度		平成21年度	平成23年度		
	再編・ネットワーク化の枠組みまで合意している場合は○を記入(既に再編・ネットワーク化を実施している場合は◎を記入)(以下①から③まで記入)						◎			
	①再編・ネットワーク化の具体的な内容						下呂市立金山病院と岐阜県立下呂温泉病院との役割分担を明確にした。具体的には、下呂市立金山病院は、市西部地域で不足する内科、外科分野の医療を補うとともに、初期医療・救急医療病院としての役割や、人間ドック、各種検診等を行う。岐阜県立下呂温泉病院の役割は、急性期医療、救急医療、災害医療、へき地医療等の支援拠点、回復期リハビリテーション医療、産科など地域に不足している医療を主として提供することとしている。			
	②再編・ネットワーク化に係る関係地方公共団体がある場合はその名称						岐阜県 (岐阜県立下呂温泉病院)			
	③平成22年3月末までの上記再編・ネットワーク化の進捗状況(上記計画のうち平成22年3月末までの実施部分)						平成24年度中の開院予定を目指して、役割分担を踏まえた病院移転の基本計画を策定している。			
再編・ネットワーク化を検討中の場合	検討中の場合は○を記入(以下④及び⑤を記入)	○	○	○	○			○		
④再編・ネットワーク化の検討体制(協議機関の名称等)	市医療管理部を中心に市総合計画で検討	土岐市立総合病院改革検討委員会	病院経営改革推進委員会	郡上市地域医療確保検討委員会				関ヶ原町病院運営委員会		
⑤再編・ネットワーク化検討の方向性	市内の公立病院及び公立診療所との機能分担・連携強化	救急医療の強化及び地域連携バスの運用、県立病院との連携を強化していく	経営形態の見直しと合わせ、二次医療圏での病院の機能分化について検討する	病々・病診連携のシステム化等を通じて地域医療体制を確保するとともに、市民から信頼の得られる公立病院の確立をめざす。具体的な方向性については、地域医療確保検討委員会の議を経て平成22年度末までに取りまとめる。				関ヶ原町に不足する診療科の診療支援として、大垣市民病院循環器内科医師を、毎週土曜日1名派遣事業として大垣市の協力を要請協議中		
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 平成22年3月末現在(一部適用、全部適用、地方独法、指定管理者等の区分を記入)	指定管理者制度	一部適用	一部適用	一部適用	一部適用	一部適用	一部適用		
	経営形態の見直し(予定)時期	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成23年度	平成22年度		平成24年度	平成23年度	
	経営形態の見直しの方向性(※実施の場合●、決定的な場合は◎、検討中の場合は○を記入)	公営企業法全部適用	○	○	○	○	○	○	○	
	地方独立行政法人	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者制度	●	○	○	○	○	○	○	○	
民間譲渡										
診療所化										
老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行										